

動き出す地方創生

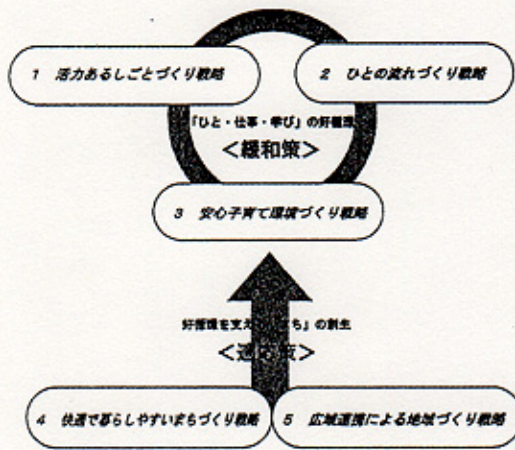
②

豊橋市の「まち・ひと・しごと創生総合戦略

■5つの戦略

これまでの課題認識を踏まえ、今後5年間の総合的な人口減少対策として、豊橋市は5つの戦略を掲げた。

①活力あることとづくり戦略
 【基本目標】質の高い雇用を確保するため、産学官が連携して



新産業の創出や人材育成など地域産業の活性化に取り組む。

【目標値】(2019年度)雇用増加数2500、新規創業者数600人

【基本的方向】地元大学が参画する産学官交流や共同研究を促進するとともに、農業の成長産業

化に向けた技術開発や海外市場での展開など新たな取り組みを促進する。また産業集積を一層高めるため、地理的な優位性や交流拠点機能を生かして、立地需要の取り込みを図る。

【目標値】(19年度)首都圏からの転入者数1200人。休日滞在人口率1.58倍

り、意欲のある事業者の取り組みを促進する。

また、意欲的な若者やNPOなどによる起業・創業の取り組みを地域ぐるみで応援する環境づくりを進め、意欲ある女性の活躍促進、高齢者の活用など、多様な人材が雇われ生かされる仕組みづくりを進める。

②ひとの流れづくり戦略

【基本目標】人口の維持・増加への人の流れをつくるため、豊橋で育ち学んだ若者の転出を抑えるとともに、首都圏等からの転入を促す取り組みを推進する。

【目標値】(19年度)首都圏からの転入者数1200人。休日滞在人口率1.58倍

【基本的方向】地元大学生や若者の地元定着を促進するため、本市の認知度向上を図るとともに、若者が活躍できる場づくりなど将来のま

【基本的方向】魅力と活力にあふれたまちづくりを進め、結婚することや家族を築くことに対する前向きな気持ちの醸成を図り、誰もが安心して子どもを産み育てられるよう周産期医療や、母子保健を推進する。また、切れ目のない包括的な支援体制を構築するとともに、子育て世代を地域ぐるみで温かく見守り応援する地域づくりを進める。

④快適で暮らしやすいまちづくり戦略

【基本目標】人口減少に適応した都市構造への転換を図るため、都市機能の集積と公共交通による連携を進めるとともに、公共施設の統廃合などを推進し、コンパクトで利便性の高いまちづくりを進める。

【目標値】(19年度)居住誘導区域内人口維持、中心市街地の人口10500人

【基本的方向】地域特性に応じた都市機能の集積を適切に誘導するとともに、利便性の高い公共交通ネットワークを確立する。

【基本的方向】東三河の産学官が一体となり広域的な経済生活圏として地域外へ発信し、広域幹線道路網や港湾施設などのインフラ整備を促進し、8市町村のそれぞれの魅力を生かした地域振興策に取り組む。

■多様な人材の総力戦で

佐原光一豊橋市長は「この地域の産業力や人材を広く発信し、地理的・経済的連携を生かして『東三河でありたい』と強調する。」

昨年11月市議会OB議員でつくる有衆会で、同戦略を教材に勉強会を開いた同会会長の夏目忠男元議長は「豊橋には多様な能力を持った多様な人材がいっぱいおられる。これらの人材群を豊橋の活性化に向けて生かしていく事により、可能性はもっと広がるはず」と期待を込める。

長期的な「緩和策」と現下の「適応策」

【基本的方向】魅力と活力にあふれたまちづくりを進め、結婚することや家族を築くことに対する前向きな気持ちの醸成を図り、誰もが安心して子どもを産み育てられるよう周産期医療や、母子保健を推進する。また、切れ目のない包括的な支援体制を構築するとともに、子育て世代を地域ぐるみで温かく見守り応援する地域づくりを進める。

④快適で暮らしやすいまちづくり戦略

【基本目標】人口減少に適応した都市構造への転換を図るため、都市機能の集積と公共交通による連携を進めるとともに、公共施設の統廃合などを推進し、コンパクトで利便性の高いまちづくりを進める。

【目標値】(19年度)居住誘導区域内人口維持、中心市街地の人口10500人

【基本的方向】地域特性に応じた都市機能の集積を適切に誘導するとともに、利便性の高い公共交通ネットワークを確立する。

豊橋駅周辺を中心市街地において、高度な都市機能の集積を促進し、にぎわいを創出し、広域的な交通結節機能の充実に図る。

また、公共施設の長寿命化を計画的に進め、さらに空き家の利活用を促進することで地域の活性化につなげる。

⑤広域連携による地域づくり戦略

【基本目標】東三河の持続的な発展のため、関係市町村等との連携により魅力と活力に満ちた広域的な地域づくりを推進する。

【目標値】(19年度)首都圏から東三河地域への転入者数2400人、東三河地域の製品出荷額等4兆8000億円

【基本的方向】東三河の産学官が一体となり広域的な経済生活圏として地域外へ発信し、広域幹線道路網や港湾施設などのインフラ整備を促進し、8市町村のそれぞれの魅力を生かした地域振興策に取り組む。

■多様な人材の総力戦で

佐原光一豊橋市長は「この地域の産業力や人材を広く発信し、地理的・経済的連携を生かして『東三河でありたい』と強調する。」

昨年11月市議会OB議員でつくる有衆会で、同戦略を教材に勉強会を開いた同会会長の夏目忠男元議長は「豊橋には多様な能力を持った多様な人材がいっぱいおられる。これらの人材群を豊橋の活性化に向けて生かしていく事により、可能性はもっと広がるはず」と期待を込める。